

石川の印刷

IPIA

ISHIKAWA PRINTING INDUSTRY ASSOCIATION

CONTENTS

令和2年 年頭挨拶(吉田理事長)
石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会
中部地区印刷協議会
■令和元年度 下期会議開催
■分科会・理事長会報告
DTP技能検定試験
印刷営業講座
印刷関連企業情報
令和元年度 第3回(令和2年新年)理事会報告
VOC警報機(導入・更新)補助金のお知らせ
事務局日記/会員短信/今後の予定

発行

石川県印刷工業組合

石川県金沢市玉鉾4丁目160
TEL.076-291-0557
<http://www.ishikawa-pia.jp/>
令和2年(2020年)3月31日発行

NO.

299



石川県印刷関連団体協議会 会長
(石川県印刷工業組合 理事長)

吉田 克也

令和2年 年頭挨拶

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

このたび、石川県印刷関連団体協議会令和2年新年互礼会のご案内を差し上げましたところ、公務ご多用にも関わらず、

石川県知事 谷本正憲 様

金沢市長 山野之義 様

石川県中小企業団体中央会専務理事 中村明 様

のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

また、遠方より多くのメーカー、ディーラーの代表の皆様、そして当協議会の歴代会長の皆様にご臨席賜りましたこと、さらには大勢の皆さんに、令和最初の当協議会新年互礼会にご参加いただきましたことに、重ねてお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、石川県印刷会館の竣工を忘れるわけには参りません。昨年8月の業務開始から4カ月余り経ちましたが、印刷工業組合のみならず、各構成団体の皆さんにもお使いいただいていると聞いております。『新会館を業界人が気軽に集える場所とすることで、業界人の英知の交流拠点へと成長させ、石川県の印刷業界発展に貢献する施設にして行きたい』と考えていた私たちにとって、大変嬉しいことです。今年も、大いに活用していただき、印刷ならびに関連業界発展につなげていただければ幸いです。

さて、本年は東京オリンピック・パラリンピック開催という、数十年に一度の大きな変化がある年です。当然、石川県にも

多くの観光客や外国人がやってくると思います。人が動けば印刷物の需要も発生するはずですので、私たちもこの変化をチャンスと捉え、全員が上昇気流に乗ろうではありませんか！

しかしながら、エスカレーターに乗るが如く、誰もが自動的に上昇できるほど甘くないのも事実です。各社が得意分野を磨き、個性を発揮することで、チャンスを掴みやすくなり、上昇気流に乗れるのだと思います。

各社が得意分野を磨き上げるために不可欠なのは、働く社員の皆様のスキルアップです。石川県印刷工業組合では、「オフセット印刷技能検定」「DTP技能検定」の運営を行っていますが、本年は数年ぶりに「印刷営業士認定」事業を実施します。『企業は人なり』と申しますが、業界をあげて次代の印刷産業を担う人材育成に取り組みしたいと思います。

政府が主導し、「5G」サービスが本格的に開始する本年、益々、ネットを活用した情報発信・販促活動に注目が集まると思います。そのことだけを考えると、印刷業にとってマイナスかもしれませんが、「5G」を活用して印刷業を活性化できないか考えた方が良いのではないのでしょうか？コンテンツ制作力を生かしてネット広告用の動画制作や配信事業に進出する。印刷機等を5G回線に接続してスマートファクトリーを実現し、収益力を強化する。そのようなことを考えると、むしろチャンスなのかもしれません。このように、「変化」を恐れるのではなく、「変化」を利用しようとすれば、数多くの選択肢が見えてきます。

選択肢を見つけるには、仲間との意見交換が効果的だと思います。本日の互礼会のみならず、各種事業への参加を通じて、各社なりの選択肢を見つけていただき、各社の発展、そして、より良い「石川の印刷」を実現しようではありませんか。

以上、甚だ簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

令和の新時代に向けて、石川県印刷関連団体協議会「新年互礼会」が開催される
来賓、会員（石川県内8団体76社などから）総数158名が新春の門出を祝う

石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会

日時：令和2年1月6日（月）午後5時開宴

場所：ANAクラウンプラザホテル金沢 3階「鳳の間」



今年の新年互礼会は、3年ぶりにANAクラウンプラザホテル金沢で開催した。小杉善文専務理事の司会で開会の辞が述べられ、出席者全員による国歌斉唱により始まった。

はじめに主催者を代表して吉田克也会長が年頭の挨拶を述べた。（表紙に記載）

来賓の祝辞では、谷本正憲石川県知事、山野之義金沢市長、より祝辞をいただいた。

谷本知事の祝辞では、「新年あけましておめでとうございます。今年もご案内いただき、厚く御礼申し上げます。」との謝意続き次のご挨拶をいただいた。（以下要約）

「今、吉田会長のお話を聞いておまして、新年にかける決意表明というふうを受け止めさせていただきました。石川県も、新幹線の金沢開業が実現して、これで6年目に入りますが開業効果が高いレベルで持続をしています。おそらく令和2年もこのレベルは変わらないのではないかと思います。我々は、石川県を取り上げたテレビ番組は、何本ほど全国ネットで放映されているのかという調査をやっています。開業した年の平成27年は、313本、2年目は250本、3年目が305本、そして4年目の平成30年には、360本まで増えてきました。今年もまだ結論が出ておりませんが、前年を超えるのではないかとこの予測もあり、石川県の露出度がまだまだ全国的に高まっていると思っています。私は、このような効果が一朝一夕に生まれたわけではないと思います。石川県印刷関連団体協議会の皆さん方のご協力、ご尽力もあっていろいろな媒体を通じて、この石川県の素晴らしさを全国に発信し続けてきたことが、新幹線の金沢開業と合わせて大きな結果を生んでいると思います。多くのお客様が本物の素晴らしさを、この目で確かめようとお越しになっている。これがまた、東京のテレビ局を触発し、ここ石川に来て取材をして、全国ネットへ流す。そして、さらに多くのお客様をこちらへ呼び込む、こんな相乗効果が現れているのではないかと思います。」

今年、東京オリンピックの年であります。56年ぶりの日本開催です。これはある意味で、石川県を発信する最大のチャンスです。現場の部局に督励をだして、東京オリ



ンピックまで間に合わせるかたちで、三つの事業を進めてきました。一つは、金沢港が開港して50周年、4月4日にオープンをする金沢港のクルーズターミナルの整備です。これはクルーズ船が同時に2隻入り、4000人のお客様の出国手続きを2時間以内で終わらせる方向で、大きな建物をつくりました。これにより金沢港は、日本海側におけるクルーズの拠点港となります。2点目は、金沢城の鼠多門、鼠多門橋も、今、整備を進めています。関係する皆様の努力もあり、おかげさまでこの6月には完成する運びとなりました。これができることによって、新たな加賀百万石の回遊ルートが生まれます。また、3点目は国立工芸館であります。建物は完成し、これから作品が持ち込まれます。東京の日本芸術院の作品の全てを一点残らず、石川県に移転をするということになり、これからその作業は本格化してきます。これも開館するからには、オリンピックまでに間に合わせようと文化庁に督励をお願いしています。遅くとも7月には、国立工芸館が開館する運びとなりました。

以上

の施策から、印刷業界の皆さん方にはお世話になる話題が沢山あります。これを全国に向けてどのように発信すれば、多くの方にご理解いただけるのかを共に知恵を出しあう大事な一年になると思います。これからの時代、ペーパーレス化やデジタル化、IT化、さらに5Gとか、色々な新技術が起きていますが、吉田会長も話されたように、新しい技術を取り込んで印刷業界では、さらにもう一段レベルアップを目指すことも必要ではないかと思

います。かつて、「石川新情報書府」事業を、印刷業界と一緒に始めた記憶がございます。平成8年にスタートして、平成27年までの20年間、単に印刷は、紙にものを刷るだけではなく、ITやデジタル技術を取り入れる挑戦をしました。この取り組みから、皆さんの中には、新ジャンルへの道が開けてきた方もいるのではないかと思います。そんな意味では、石川県も少しはお役に立てた一面があったように思います。

ところで、東京オリンピックでは石川県ゆかりの選手に、メダル獲得の大きな期待が寄せられています。私が予想するだけでもトランポリン、レスリング、競歩、女子の射撃、アーティスティックスイミング（昔のシンクロナイズドスイミング）の団体にメダル獲得の期待が寄せられています。もしかしたら、

金メダルが複数獲得されるかもしれない、そんな可能性もあります。私たちは大いに東京オリンピックに関心を持ち、それを一つの足掛かりにして、大きく飛躍をする年にしたいと思っています。今年一年が石川県印刷関連団体協議会の皆さまにとって、大きく飛躍、発展する、そんな年であることを、心から願ひまして、ご挨拶にさせていただきます。どうぞ今年一年もしっかり頑張ってください。よろしくお願いいたします。」

引き続き、山野金沢市長の祝辞では、「改めまして、明けましておめでとうございませ

す。皆さまとともに新しい年を迎えられましたことを、大変うれしく思います。」とご挨拶のあと次の祝辞をいただいた。（以下要約）

「今年はカレンダーの並びの都合で、すでに金沢中央卸売市場で水産（魚）と青果（野菜、果物）の初競りを、昨日終えました。そして今日、花卉（花）の初競りを終えました。実はあまり印刷業界の皆さんはご存じないかもしれませんが、卸売市場法という法律がありまして、その法律が昨年、改正され、この6月から施行されることとなります。おりしも中央卸売市場が老朽化しているということもありましたので、市場法の改正も受けながら、これからの時代を見据えて、今、建て替えについて、いろいろな議論をしています。卸や仲卸の社長さんや会長さんと、私はこの2年ほど、よく意見交換をしています。市場の皆さんは、すごく危機感を持っています。今までのやり方と同じであれば、必ずわれわれの業界は駄目になる。市場そのものがどうなるか分からない。そんな危機感を、皆さん、共通してお持ちです。そして、昨日、社長さん方の何人かと話しているとき、ある方に、「amazon」は、皆さんの業界にとってどのような影響があるかと質問したら、その社長さんはこんなふうに言いました。「怖い思いもするけれども、チャンスとも思っている。敵ともなり得るし、味方ともなり得る。」と答えていました。時間があまりありませんでしたから、この社長の思いを詳しくお聞きできませんでしたが、今、吉田会長のお話を聞いて、私なりにこんなふうを受け止めました。たぶん皆さんは、僕より若い方もいらっしゃるかもしれませんが、「amazon」で生魚を買うか、野菜を買うか、果物を買うかということ、僕はやっぱり心配で、とてもそんな気にはなり得ません。でも、ネット販売の間に金沢中央卸売市場が入るとなると、いっぺんに安心感が持てるのではないのでしょうか。市場の卸や仲卸からすれば、スーパーに卸すということもそうですけれども、そんな形での対応というものもあり得るということを考えてみると、味方になる可能性も十分あるという思いでのお話ではないか

と思っています。まさに吉田会長がおっしゃいましたが、これから5GやAI、IoTが進んでいくなかで、印刷業界の皆さんにとっては、ちょっと構えるところもあるのかもしれませんが、もしかしたらそれが新たなビジネスのチャンスに繋がっていくかもしれないと言えるのではないのでしょうか。いずれにしても、印刷業界もこれまでと同じやり方であるならば、私はおそらく大変厳しい状況になるのではないかと思います。それぞれの強み、個性を生かしながら、ときには連携をしながら、また別の業界とも手を携えながら取り組んでいくことによって、新たなチャンスを掴む、もっと言えば新たなビジネスチャンスを生み出すことにもなってくるのではないかと思います。行政として、そのためにどんな環境整備ができるのか。業界の皆さんとともに意見交換をしながら、その環境整備のために、これから精一杯努力をさせていただきたい、そのことをあらためてお誓い申し上げまして、私からの冒頭、新年の挨拶といたします。本日は本当にありがとうございました。」と結んだ。

来賓のご挨拶の後、恒例となっている「鏡開き」を来賓、関連団体関係役員の皆さま22名で、賑々しく行われ、乾杯の発声を福島理夫元会長が行った。乾杯に先立ち福島元会長は、「昨今の日本の景気は、国際情勢の影響を敏感に受け予測がつかないものですが、今年がオリンピックの年にあやかって、皆さまと共に良き一年としたいと思います。」と述べ乾杯を行った。暫しの懇談の後、中締め挨拶では、石川県印刷関連団体協議会の前出猛男副会長は、ご来賓をはじめこの会場に集った皆様への感謝の意を述べて、「今年2020年は、オリンピックと世界の印刷の英知が集うdrupa2020が開催される節目の年です。石川県の印刷業界の発展を祈願して、三本メをお願いします。」と力強く令和2年の新年互礼会を締めくくった。

（報告：事務局 西川幸洋）

（報告：事務局 西川幸洋）



（報告：事務局 西川幸洋）

（報告：事務局 西川幸洋）

（報告：事務局 西川幸洋）



◎令和2年 石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会 ご祝電をいただいた団体・企業名

金沢商工会議所
全日本印刷工業組合連合会
FFGSグラフィックサプライ株式会社
コダック合同会社
コニカミノルタ ジャパン株式会社
株式会社小森コーポレーション
サカタインクス株式会社
株式会社桜井グラフィックシステムズ

株式会社SCREENホールディングス
株式会社SCREEN GPジャパン
ダイヤミック株式会社
DICグラフィックス株式会社
東洋インキ株式会社
富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社
リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

中部地区 印刷協議会

令和元年度 下期会議開催（名古屋市）

日時：令和元年2月7日(金) 午後1時30分
場所：キャスルプラザ（愛知県名古屋市中区）
対象工組：愛知県 岐阜県 三重県 富山県 石川県
（中部5県の印刷工業組合）

石川県工組からの出席者：

吉田理事長、出村副理事長、大村副理事長、北川副理事長、安達副理事長、木村副理事長、田上常務理事、田中常務理事、山越常務理事、西川事務局長（計10名）



冒頭、大洞正和中部地区印刷協議会会長は、「最近では新型コロナウイルスの感染拡大のニュースが連日報道されている。また、今年には東京五輪・パラも間近に迫っており、一刻も早い事態の収束を望みたい。さらに、6月には、「DRUPA2020」が開催され、4年に一回の展示会で、どのような提案がなされるのか注目される。全印工連は、働き方改革の啓蒙など様々な取り組みを行っているが、本日の会議で有意義な討議を行い、組合員にフィードバックして欲しい」と挨拶。次いで全印工連の臼田会長は、「全印工連はHappy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業をスローガンに、幸せな働き方改革の啓蒙などに努めてきた。単に法令に則り残業時間を削減する考え方ではなく、印刷産業の実状に合った改革の進め方を示している。最近では、AIやIoTを駆使してビジネスを変革する「デジタルトランスフォーメーション(DX)」という言葉が聞かれる。私も昨秋の印刷フォーラムでDXの重要性について話したが、いまだ中小印刷業の多くは、会計ソフトで見積書や請求書を出すレベルでしかない。これは構想段階だが、会計処理と生産管理の融合型ソフトを負担の少ない形で全印工連が提供し、自社の業務管理だけでなく、同じソフトを使う会社同士で仕事を連携できないか考えている。全印工連は、今後も一社では解決できない経営課題を側面から支援する。それが組合のあるべき姿であり、存在価値になる。」と表明した。

◆ 全体会議【事業概要説明】 ◆

- ◎ 経済産業省調査事業の進捗状況について
- ◎ 広報戦略推進「大喜利印刷」第2弾プロジェクトの説明
- ◎ 幸せな働き方改革の促進
- ◎ 事業承継事例紹介パンフレットの作成
- ◎ 官公需対策に関わる取り組みについて
- ◎ 各種調査への実施協力
- ◎ 平成30年（平成29年度実績）工業統計「地域別統計表」からの報告
- ◎ 幸せな働き方改革STEP4について（全印工連 惟村常務理事）



大洞会長

◆ 分科会・理事長会からの報告の概要 ◆

① 経営革新・マーケティング委員会

（出村委員長＝石川県工組）

- ・事業承継支援センターへの相談件数：
全国目標50件の内、実績が28件（中部は4件）
- ・事業承継セミナーの実施：
全国目標15件の内、実績11件（中部は富山1件）
全般的に低調。メールマガジン「共創ネットワーク通信」は配信希望の組合員が増えず、スポンサー広告も伸び悩んでいる。事業承継支援センターや共創ネットワーク通信の利用を増やすために、戦略の練り直しが必要である。

② 環境・労務委員会（伊藤委員長＝三重県工組）

4月から時間外労働の上限規制が設けられ、月45時間以内かつ年360時間以内が原則、違反すれば罰則が課せられる。VOC警報器は生産現場の従業員の安全を守るものであり、今年度は中部で17台の販売を目指しているが、現時点で6台。従業員の安全対策のためにも導入をお願いする。また、GP認定取得、環境推進工場登録は対外的なPRにもなるので、積極的に取り組んでいきたい。

③ 組織・共済委員会（岩瀬委員長＝愛知県工組）

来年度の共済加入促進キャンペーンの重点工組に愛

知と富山が決まった。共済加入については今年度、生命共済制度で組合員数の35%加入（2月時点の加入率31%）という全国目標がある。中部5県では愛知以外の4県は35%以上の加入がある。組合にとって、生命共済制度は、全印工連からの分配金があることから、組合員からの賦課金と同様な貴重な収入源となる。該当委員や保険会社だけでなく、執行部も未加入企業を訪問し、加入のメリットを訴えていく必要がある。組合員の増強についても、共済の加入促進と同様、執行部を含めた訪問活動が求められる。

④ 教育・研修委員会（小川委員長＝岐阜県工組）

アドビ特別ライセンスプログラムの新規契約本数は全国で871、当初目標の729本をクリアできた。また、契約更新していない組合員や組合に入っていない企業にPRできるため、通常よりも有利にアドビ製品を使用できることは、組合員増強の大きなアピールポイントになる。技能検定プリプレス職種「DTP作業」は今年度、全国で119人が受検したが、前年度から44人減った。国家検定のため、受検者数が100名を下回ると、以前のように、国も廃止を検討しかねない。中部の受検者数は55人と全体の約半数を占めており、従来通り告知活動をしっかりやることで人数を確保できると確信している。経営者は従業員に資格試験を受検させる際には、何のために受検するのか、従業員が理解できるように、しっかり説明することが必要である。地方では、印刷業界の魅力を発信することが困難なため、新入社員研修向けに業界の魅力を15分程度にまとめた動画を作成してもらいたい。

⑤ 取引公正化委員会（船委員長＝富山県工組）

コンテンツの二次利用促進のため、条件付きで受注者側に知的財産権を帰属させるコンテンツ版バイ・ドール契約の導入を各自治体に呼び掛けているが、導入まで至らない。知的財産権の取り扱いに関して、印刷会社側に著作権が帰属するイラストなどの無償譲渡を求める自治体の対応が問題視されている。富山では他県の事例をもとに、知的財産権への配慮などを記した文書を作成し自治体に説明した。結果、富山市では4月から受注者側の知的財産権保護に配慮する文言を盛り込んだ新たな発注仕様書が使用されることになった。全国各地で、制度の高い発注仕様書が作成されつつある。

⑥ 理事長会（吉田理事長＝石川県工組）

次期地区協会長も引き続き岐阜の大洞理事長が務める

ことに決まった。ポスターグランプリも10回が終了し、多くの応募者があるが、愛知県工組の金銭的負担額が大きくなっている。他の4県工組は協賛企業の募集を進めるなど、愛知県工組の負担軽減を図る必要がある。またBCP(事業継続計画)に関することとして、最近では甚大な自然災害が全国各地で毎年のように起きていることから、組合員企業が被災した際に組合を介して仕事の請負先を見つけられるよう、三重と石川で災害時協力協定を結ぶ方向で話を進めることにした。組合員減少は各県とも進んでおり、複数の県では大手企業が脱退した。また、小規模事業所の後継者不足は深刻となっている。小規模事業所の中には、設備が老朽化しても更新する資金が無いため、一部工程を組合の中で助け合えないかという要望が出ている。こうした要望は増えると思われ、何らかの対応が必要になってくる。令和2年度の地区協上期会議は、三重県での開催、6月5日都ホテル四日市で開催する。

各委員会報告終了後、全印工連CSR推進委員会の山田委員(愛知県工組)が、3月10日に横浜市で開催される「全印工連CSRサミット2020」の概要を説明。また、長野県工組の藤森理事長が、10月9、10の両日、長野市で開催の全日本印刷文化典長野大会2020を説明した。

まとめ（大洞会長）

ある印刷会社の若手社員の言葉で「私たち印刷会社の仕事は、単に紙に印刷することだけに止まりません。お客様の「もっと沢山人を呼びたい」、「もっと沢山の人の情報を伝えたい」といった多様な課題に対し、企画段階から提案し、撮影やデザインも行う。そうして完成した印刷物は沢山の人の手にわたり、お客様の課題解決へとつながります。印刷物は全てがオーダーメイド。そのお客様の要望に合った印刷物を、文字通り白紙の状態からつくり上げ、喜んでもらうことにやりがいを感じます」というものがある。印刷会社が採用活動をする中で「印刷会社に本当に入りたい」と言う人は減っているように感じる。「印刷会社は素晴らしい」というところを、胸を張って言えるよう、中部5県の地区協メンバーが一堂に集まって議論できたことは有意義であった。（以上、議事録より引用編集）



【国家検定】DTP 技能検定試験

【令和元年度（後期）技能検定 プリプレス職種 DTP作業】

今年度も、Mac OSとWindowsに対応した実技試験を実施

■「DTP技能研修会」開催

日 時：令和元年12月18日（水）
場 所：石川県印刷会館 2階会議室
講 師：全日本印刷工業組合連合会 特別顧問 相馬謙一氏
参加者：7社10名

■「実技試験」の実施

日 時：令和2年1月26日（日）
場 所：(株)笠間製本印刷 [Windows]、
(株)北陸サンライズ、(株)大和印刷社 [Mac OS]
受検者：1級6名、2級6名(内 Windows 1級3名、2級1名)

■「学科試験」の実施

日 時：令和2年2月9日（日）
場 所：石川県地場産業振興センター本館

※今年度より、石川県印刷工業組合のDTP技能検定運営委員会の中に、「石川県DTP技能検定員分科会」を設立。構成員は、過去のDTP技能検定の1級を合格した1級技能士数名により構成され、今回より検定員として実技試験の運営にあたった。

■合格発表

日 時：令和2年3月13日（金）
場 所：石川県商工労働部企画課

印刷営業講座

2006年（平成18年）以来、14年ぶりに、「印刷営業講座」と「印刷営業技能審査認定試験」を実施。時代の変化に伴ってデジタル技術による印刷製造工程の把握とマーケティング思考による印刷営業の在り方を学び、今の時代に即した印刷営業の育成を目指す。

印刷営業講座

日 時：令和2年1月24日（金）・25日（土）、31日（金）・2月1日（土）
計21時間

場 所：石川県印刷会館 2階会議室
講 師：(株)バリューマシーンインターナショナル 宮本泰夫氏
(一財)経済調査会 高見隆登氏

参加者：組合員企業9社より23名
受講料：組合員企業1名20,900円、関連団体会員28,600円、一般38,500円（税込）
※この講座は、厚労省の人材開発支援助成金の対象事業となっています。

印刷営業技能審査認定試験

日 時：令和2年2月15日（土）9時30分～12時30分
場 所：学校法人 大原学園 金沢校4B4教室
受検料：知識試験4,400円、技能試験8,800円 計13,200円（税込）
受検者：組合員企業9社から23名、富山県工組より1名 計24名
可否連絡：令和2年3月下旬を予定。合格証の伝達は、4月上旬を予定。



3つのE すべてのお客様に

Ecology 環境

Thermal Green Plate SYSTEM

MADIATH / サーマルグリーンプレート Thermal Green Plate

Economy コスト

Thermal Digiplate SYSTEM

Thermal Digiplate TDP-459II / TDP-324II

Easy メンテ

Violet Digiplate SYSTEM

VIOLET DIGIPLATE VDP-CF3070

三菱製紙株式会社 <http://www.mpm.co.jp>

グラフィック&デベロップメント営業部 〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目10番14号 両国シティコア ☎03(5600)1475

ダイヤミック株式会社 <http://diamic.jp>

本 社 ☎03(5600)1570	札幌支店 ☎011(281)1991	福岡支店 ☎092(281)4135	広島営業所 ☎082(567)9700
東京支社 ☎03(5600)1590	仙台支店 ☎022(296)3221	金沢営業所 ☎076(200)7002	高松営業所 ☎087(868)0801
大阪支社 ☎06(6468)7901	名古屋支店 ☎052(251)9741	京都営業所 ☎075(315)1400	鹿児島営業所 ☎092(281)4135

Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

印刷会社

RMGT サービスコントロールセンター

同じ画面を共有して問題解決

原因を早期特定

+

対策を早期実施

日ごとに厳しさを増す短納期ニーズに応える、印刷の現場。ウェアラブル遠隔支援システムは、スマートグラス*を通して、印刷機のトラブル箇所をRMGTサービスコントロールセンターから目視して、すばやく対処します。印刷機のダウンタイムを短縮し、トラブルに直面したオペレーターの不安を軽減します。RMGTは、技術力と創造力で人を助け、印刷会社それぞれが強みを発揮できるように、アシストしていきます。

*スマートグラスとは、カメラとディスプレイを搭載してインターネットに繋がったメガネ型のウェアラブルコンピュータ。

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市長区久方1-145-1
TEL 052-807-1671 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

令和元年度 第3回(令和2年新年)理事会

日時：令和2年1月11日(土) 午後4時30分～

場所：金沢東山 松魚亭 ホワイトの間

参加者：本人出席20名、委任状出席9名

議題：報告事項 1、全印工連 令和元年度第2回理事会の報告
2、令和2年・3年 理事長候補者推薦委員会からの報告
3、委員会報告

①経営革新・マーケティング委員会

カードゲームで体感するSDG s セミナーの報告

②教育・研修委員会

「印刷営業講座」・「印刷営業技能審査認定試験」の実施について、「新入社員研修」の実施について

③印刷技能検定運営委員会 「令和2年度オフセット印刷技能検定」募集について

④DTP技能検定運営委員会 「令和元年度の実技試験」の実施に向けて

⑤環境労務委員会 VOC警報機の導入促進について

⑦組織共済委員会 各種共済の加入促進について

⑧広報・厚生委員会 広報「石川の印刷No298」発行について

4、支部報告 5、その他



VOC警報機(導入・更新)補助金のお知らせ

VOC警報器を設置して、より安全で健康的な職場環境を印刷オペレーターに提供しましょう!

オフセット印刷工場用のVOC警報機は発売以来全印工連の会員企業には定価48,000円の所、特別価格25,000円(税別)で販売されていますが、石川県工組として独自の導入補助金を今年度も支給することと致しました。また、このVOC警報機の有効期間は2年となっており、平成30年(2018年)以前に導入された機器は交換が必要となっています。ぜひ、機器の更新についてもご検討をお願いします。

令和3年3月までに購入された企業様に1台につき3,000円の補助金を支給します。

※毎度末に全印工連より購入リストが当工組事務局に届いた後に、

補助金を支払います。

印刷工場で働く方々の健康維持管理をさらに向上していただくために、また労働基準監督署など社外の方が工場を見られた場合でのPR効果も期待できます。

■購入の申し込みは

全日本印刷工業組合連合会

TEL: 03-3552-4571 FAX: 03-3552-7727

■製品に関する問い合わせ

新コスモス電機㈱営業開発部

TEL: 06-7668-8577

INFORMATION

事務局日記

令和元年

12月18日(水) DTP技能講習会
石川県印刷会館

令和2年

1月6日(月) 石川県印刷関連団体協議会 新年互例会
ANAクラウンプラザホテル金沢

1月11日(土) 令和元年度第3回理事会(新年理事会)
東山 松魚亭

1月24日(金)～2月1日(土)
印刷営業講座
石川県印刷会館

1月26日(日) DTP技能検定(実技試験)
㈱北陸サンライズ、㈱笠間製本印刷、㈱大和印刷社

2月7日(金) 中部地区印刷協議会 令和元年度下期会議
キャッスルプラザ(名古屋市)

2月9日(日) DTP技能検定(学科試験)
石川県地場産業振興センター本館

2月15日(土) 印刷営業技能審査認定試験
学校法人 大原学園金沢校(金沢市)

3月13日(金) DTP技能検定合格発表
石川県職業能力開発協会

3月23日(月) 令和元年度第4回理事会
石川県印刷会館

※今後の予定について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により当初の予定を変更する場合があります。

会員短信

■お悔み ～謹んでご冥福をお祈り申し上げます～

小林 繁 様(金沢支部)

(株)小林太一印刷所 金沢市湊1-110

代表者の叔父(前代表者) 令和2年1月2日ご逝去 71歳

橋本治子様(金沢支部)

(株)橋本清文堂 金沢市示野町南51

代表者の実母 令和2年2月11日ご逝去 90歳

今後の予定

4月9日(木) 新入社員研修会
金沢市ものづくり会館(金沢市)

4月28日(火) 令和元年度第5回理事会
石川県印刷会館

5月23日(土) 令和2年度通常総会
金沢ニューグランドホテル(金沢市)

6月5日(金) 中部地区印刷協議会 令和2年度上期会議
四日市都ホテル(津市)

7月下旬 令和2年度オフセット印刷技能検定
会場調整中

8月23日(日) 第24回ソフトボール大会
金沢市専光寺ソフトボール場

9月26日(土) 第29回印刷の月ゴルフ大会
能登カントリークラブ

SEARCH

<http://www.ishikawa-pia.jp> / E-mail : info@ishikawaken-pia.or.jp

GO